

学科名	建築・デザイン学科・経営ビジネス学科						
科目名	アドヴァンスト英語 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	田吹 香子						
授業の到達目標 (シラバスから)	本授業の評価は、授業内活動50%、TOEIC IPで50%(350点以上取得)で構成される。そのために、まずはTOEICの試験形式を知ることから始め、TOEICの問題の中の社会生活に必要なコミュニケーションの情報の取得能力を実践と共につけてゆくこととする。具体的には、語彙を増やすこと、文章を読む(聴く)力をつけること、全体の内容を把握する力をつけることに焦点を当て、復習テスト・模擬テストなどで学習した内容を定着させていく。						
日程と内容	木曜日2限						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	50%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習		計		100%		
授業到達目標の達成度	TOEIC形式を知る: 達成した 語彙を増やす: やや達成した 文章を読む(聴く)能力をつける: やや達成した TOEIC350点以上取得: 少人数のみ達成した						
反省点	今期はシラバス内容を変え、授業後の復習テストでクラス点の評価を決めたため、「授業の勉強をした」と答えた学生は去年より格段に多かった。自学自習を問う項目で1時間前後の学生が最も多かったのはTOEICの特性に原因があると考え。つまり、早く解くことをモットーとし、なぜ間違えたのかということや知らなかった単語をなるべく速く復習しまとめることを目標とするので、おのずと長い時間勉強することにはならない。この復習時間で十分だと考える。また、少人数であるが「教員は学生の質問、疑問、意見をくみとってくれましたか」という項目に「どちらとも言えない」と回答した学生がいたので、授業中に学生を観察し、不安を解消しようと努めてはいるが、今後なお一層の配慮が必要だ。						
来年度の計画	来年度は今年度前期と同じく、難易度の高いテキストを使いつつ、学生の意欲を喚起したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	テキストの解説を丁寧にしたため時間がかかり、シラバス通りには進まなかったが、学生はシラバス進行に関してほとんど悪い評価を付けていなかった。授業計画が遅れてもいいので、丁寧な説明をきちんと聞きたいと考えてくれたようだ。学生のやる気と意欲をこのアンケートから感じた。若干名教員がする授業が理解できたかということに関する項目に「どちらでもない」と答えた学生がいたが、それが教員や教え方が原因なのか学生自身の英語能力に原因があるのかという疑問は残った。TOEICの授業ではある程度の英語運用能力と集中力を必要とするので、英語が苦手な学生には難しかったと思われる。						
履修登録者数	12名	定期試験 受験者数	12名	合格者数	2名	合格率	17%